

中田かわら版 6月号

～中田地区の福祉保健活動をお知らせします～

発行：中田の福祉と保健を考える会 協力：泉区役所 泉区社会福祉協議会
 製作：中田かわら版制作編集委員会 横浜市踊場地域ケアプラザ

中田に「ホタル」を！

よみがえれ“権五郎ボタル”

「ほ、ほ、ホタル来い、あっちの水は辛いぞ、こっちの水は甘いぞ」——子どものころよく歌ったものだ。そして草むらや木々の茂みに、たくさんのホタルが光っているのを、大人に連れられて何度か見に行った記憶がある。芭蕉の句に「草の葉を落つるより飛ぶ蚩かな」という名句がある。

中田にも「中田の川にホタルを」と頑張っている人たちがいる。村岡川(宇田川)をきれいな水にして、将来はホタルが見られるようにしようという「村岡川をきれいにする会」(吉田一夫会長・宮の台)や御霊神社の水源地付近を中心にボーイスカウトOBたちでつくる「権五郎党」(小山進会長)だ。

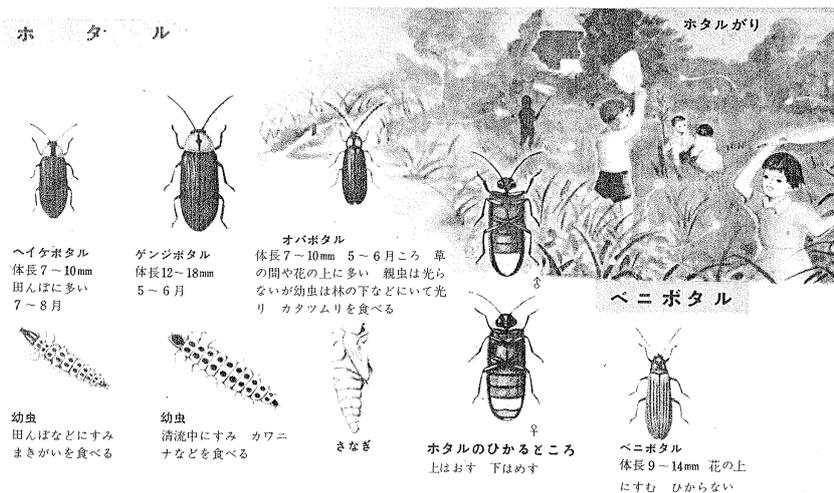
村岡川の方は、川の両岸に隣接する8町内会と汲沢中学の生徒たちが協力して清掃活動を行っているがホタルへの道は険しい。まず水温が低く、草むらや木陰が少なく、水質調査でも悲観的要素が強く難しいのが現実。

御霊神社の方は小山会長をはじめスタッフの研究熱心が効果をあげ、昨年は6,7匹の個体が見られた。問題はホタルの餌になるカワニナの養殖が難しいこと。水質、環境の影響などで繁殖率が極めて低いこと。四国、九州産のカワニナを購入したこともあったが、高価なこともあり以後断念。筑波にもあるときき一泊かけて数人で出かけたことも。最近、戸塚で採れることも分かったが自然破壊、生態系などを考えると、これも難しい選択だ。

小山会長は「地元でホタルを定着させることに意義がある。」と強調する。苦労話は限りなく続いた。取材で分かったことは、小山会長のホタルへの並々ならぬ愛着、その造詣の深さだった。そして、最後に「ホタルの天敵は人間なのです。ですから新聞や口コミであまり宣伝されたくないのです。盗られたり荒らされたりするのは目に見えています。」この言葉を私たちは重く受け止めなければならないだろう。ホタルをこよなく愛するメンバーたちは自ら“権五郎ボタル”と名付け、愛着をもって日々研究、努力を続けている。何時の日か安心してホタルを鑑賞できる日の来るのを期待したい。

(宮田貞夫 編集委員)

(注)本文では場所の特定や時期など詳しいことは極力避けて書いてあります。ご了承ください。



「昆虫の図鑑」(小学館)より

7月のイベント

【第35回子ども水泳教室】

- ・ 開催日：8月5日(水)～9日(日) 9:30～11:30 (1回目は9:15より開講式)
- ・ 場所：中田小学校プール
- ・ 対象者：小学校2年生～6年生 80名 (5日間参加できる方を優先)
- ・ 受講料：3000円
- ・ 主催：泉区体育指導委員連絡協議会

※ 参加受付は、7月19日(日) 10:00～10:30

中田小学校で行われます。

参加者が定員を超えた場合は、
抽選になります。



定期イベント情報

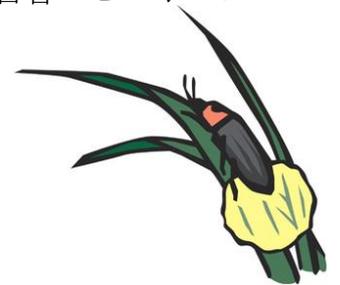
- 中田友遊会 (高齢者サロン) 7月9日(木) 13:30～15:00 中田町会館
- 中田子育てサロン 7月10日(金) 10:15～11:45 踊場地域ケアプラザ
- 町ぐるみ健康づくり活動 7月4日・18日(土)10:00～11:30 立場地区センター
- 春日健康づくり教室 7月5日・19日(日) 9:30～11:00 葛野コミュニティーハウス
- 白百合愛児園 (連絡先 805-5911) ・ 育児相談 月～金 9:30～16:00
・ 図書の日 水 10:00～11:00
- 中田社協子育てサロン 7月23日(木) 10:15～11:45 葛野コミュニティーハウス
- 二十日会(一人暮らし高齢者の食事会：要予約) 7月20日(月) 11:45～踊場地域ケアプラザ
- 憩いの会 (宮の台サロン) 7月2日(木)12:00～14:30 宮の台町内会館
- ひまわり (広町サロン) 7月13日(月)13:00～15:00 広町自治会館
- 中田希望会 (中途障がい者の会) 7月9日・23日(木) 13:30～15:30 踊場地域ケアプラザ
- にこにこパーク (親子の広場) 毎週月・水・金 10:00～15:00 白百合ベビーホーム
- 青少年居場所作り 7月18日(土) 9:30～11:30 立場地区センター

◆ ゲンジボタルとヘイケボタル

日本を代表する夏の風物詩ホタル。中でもゲンジは昔から歌や絵で最も親しまれている種類だ。全国10箇所の生息地は国の天然記念物に指定されている。

体長は地域によって変異が大きく西日本のホタルは、大型の傾向がある(オス14[㍉]前後、メス18[㍉]前後)。本州のほか、対馬、讃岐、佐渡島にも住み、北限は青森県まで。ヘイケの方は北海道にも広く分布し、東シベリアや韓国にも記録されている。体長はゲンジに比べ小型でオス約10[㍉]、メス12[㍉]くらい。形態はゲンジに似ているが、小型でやや幅広。主として水田に住むが山や丘陵に近い位置を好む。ゲンジは湧水、地下水など清浄な水から有機物を含んだ富栄養化した用水地やダムの水まで幅が広い。

(宮田貞夫 編集委員)



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 生田(いくた)まで問い合わせください。

TEL 801-2114

FAX 801-2923

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう!～